

チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	-（事務局用）	地域の多様な人とつながりながら若者が地域の活性化にチャレンジする。	越前市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	Happy Project×高校生＝Hino・Quest 地域の多様な人と繋がりながら、高校生の視点で地域の Happy を生み出す		

（注1）地域課題タイトルは、COG2020 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	福井県立武生東高等学校 Hino・Quest		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	190名		
代表者（公開）	青山 貴代美		
メンバー（公開）	酒井 瑞穂 小島 更紗 川嶋 くるみ	井上 玲奈 掃部 里桜	林 柚葉 北山 正太郎

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2020_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2020 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2020@pp.u-tokyo.ac.jp

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示－非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	(○)
---------------------------------	-----

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、これこれの課題解決のために、何をやる社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2 ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

若者流出、伝統産業の担い手不足、労働者不足を補う多数の外国人労働者との共生……。まもなく新幹線が開通する越前市には多数の課題がある。地域の高校生が地域を知り、高校生の視点で解決策を提案・実践することで、課題解決の糸口とすると共に、地域にエネルギーを発したい。

<この課題解決のためのアイデアが具体的に実行される場面を想定してください。そこで…>

<「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

【何をするアイデア】

武生東高校 2019 年入学生 190 人で、地域の課題を探りだし、その解決策を立案・実践する。

【誰が】

福井県立武生東高等学校 2019 年度入学生 190 名全員が取り組む。

福井県立武生東高等学校は普通科だけでなく、県内初の国際科を有する公立高校である。2019 年度入学生としては、普通科 136 名、国際科 54 名が在籍している。普通科は文系と理系とそれぞれ得意とするところや興味関心が異なる。国際科は、学校設置科目の履修を通して、国際的課題について関心が高い。そのような多様な生徒達がチームを組み、高校生らしい課題を発見し、高校生の自由な視点で解決策を立案・実践する。

【いつ】 2019 年～2020 年にかけて、2 年間のプロジェクトである。

【どこで】 越前市をフィールドとして、課題を設定し、課題解決策を立案する。

【どのように】**2019 年(1 年次) …地域を知る。自分の課題を発見する****5 月①…越前市の「いいところ」「ここがちょっと」をインタビュー**

一人 5 名以上の人に越前市の「いいところ」「ここがちょっと…」をインタビューした。中学時代の友人はもちろん、部活動で知り合った他市の友人などに聞き取り調査をした。ゴールデンウィーク中であったため、県外の親戚や、武生駅利用者、お祭りに来ていた観光客に聞いた生徒達もいる。総勢 833 人の声を集めた。

5 月②…インタビュー調査の分類・分析

インタビュー調査を元に、越前市の「いいところ」「ここがちょっと…」を持ち寄り、分類/分析した。まちづくり武生(株)や大学関係者・地元企業の協力を得て、補足を受けた。「ここがちょっと」と思っていたことが、実は「いいところ」に繋がっていることに気づき、課題設定の材料とした。

7 月…越前市役所に疑問をぶつけ、実態や政策を知る。

自分の課題についての現状の把握と疑問を解明するために、市役所各課の方と質問会を開催した。

10 月…現場を知る。(フィールドワークに出かける)

実際の現場での声を拾うため市内企業や保育所・病院等でのフィールドワークを実施した。

12 月…中間報告会(地元詳しい方々から情報を得る。解決策を考える)

地域の各協議会や企業の方にも参加いただき、新たな視点や情報を得た。その後自主的なフィールドワークを実施。白山地区・屋内遊戯場・外国籍児童教育に取り組んでいる小学校等を訪問した。

1 月…Happy 作戦集の発行

190 の解決アイデアを冊子にした。SDG s の目標に照らし合わせ、編集は、SDG s 項目順とした。5 月のインタビュー調査(833 人の声)の CD とセットにして、各公民館や中央図書館で閲覧できるようにした。

2020 年(2 年次) …チームを結成し、具体的解決案の立案と実践に取り組む

チーム(2~4 名)を結成し、具体的解決策の立案。実践に取り組む。

設定テーマは以下の通りである。

都市開発・交通・街づくり・観光分野	
武生駅前リニューアル作戦	観光客増加に向けて
南越駅周辺を使った越前市全体の活性化	商店街をハイテク化

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

武生駅前の活性化	武生駅と武生平和堂で越前市を活性化
越前市の財政・人口	南越駅周辺の建物
企業を起業	新幹線開通による変化
未来への福ロハス	越前市中心市街地活性化プラン
東校生の交通安全	バスの利用者を増やす
Iターン・Uターン・Jターン	第三セクターと越美北線の利便性向上
スポーツで町おこし	新幹線開通を機に越前和紙をPR
越前市学童保育の改善	サンドーム直行バス
ケーブルテレビを見てもらおう	若者の地方離れをなくすには
駅弁を通じて越前市をPR	町の活性化 with ホイットカード
空き家を利用した越前市活性化プロジェクト	外国人が観光しやすい街にするには
武生勉強カフェ	越前市の観光
福祉・医療・高齢者対策分野	
助産師を増やそう！	高齢者の体を健康に
市民の心と身体健康促進	世代間交流の増加
Break the Language Barrier	高齢者の健康施設
看護師への心のケア	高齢者の暮らしやすい街作り
福井県の小児医療	高齢者の孤独死を防ぐには
将来まで続くチーム医療	高齢者に対する医療とその後のケア
	高齢者が地域との関わりを保つために
自然・農業・理系分野	
恐竜王国福井の伝統産業利用	1次産業から6次産業へ
レジの自動化	農業でより多くの採算を取る
次世代ロボット	川の氾濫について
新幹線の建設方法	農業売上を上げるためには
水車を用いた発電について	コウノトリの繁殖について
生分解性プラスチックの活用	農業の効率化
Washi 和紙の可能性を求めて	
教育・国際理解分野	
多文化共生	教師の業務改善について
日本企業と外国人労働者の関係性	池田町の観光客を増やす
Traveling together from the starting point of differences	待機児童0人にするには
Let's share 異文化	高校生が青春を謳歌するために
広がれ！笑顔の輪プロジェクト！！	池田町にフリースクールを作ろう
Break out the gender barrier!	緑っ子プロジェクト
安全で活気ある公園を作るために	音楽と本にあふれる街 越前市
地域で児童虐待を防ごう	見た目問題の偏見差別多様性を尊重しよう
それぞれのチームが実践に向けて取り組んでいる。	

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それを**サポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明**してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

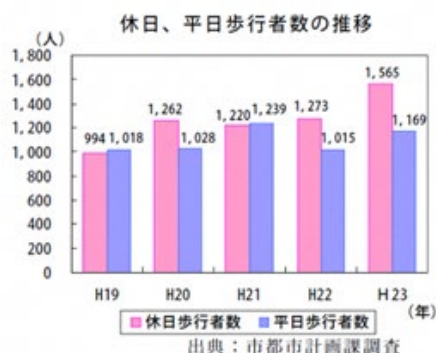
<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」これをやりたいのかの思いを上記のデータを示しつつ書いていきます>

チームで提案された70プランの中から、8プランを例としてあげる。

①都市開発・交通・まちづくり・観光分野（3例）

《武生勉強カフェ》

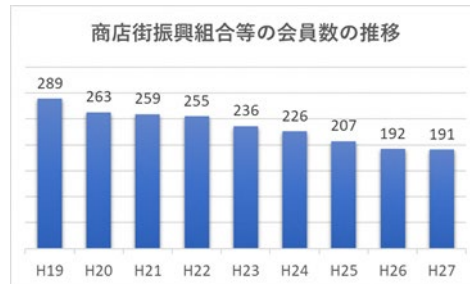
武生駅前を歩いて調査した。シャッターが閉まった店舗が多く、歩いている人は学生以外ほとんど見あたらなかった。老朽化した建物もあり、このままでは駅前商店街は衰退していくという危機感が募った。そこで、武生駅前でもインタビュー調査を開始した。武生駅利用は学生が多く、その結果学生が駅前に足りないと感じているものは「テスト期間中、学生が気軽にご飯を食べられる場所がない」という結果であった。学生達をターゲットに、勉強ができ軽食も食べることができる「武生勉強カフェ」を作り、若者を駅前に呼び寄せたい。地域の人が集まるハブ空間の役割も持たせたい。



学生達をターゲットに、勉強ができ軽食も食べることができる「武生勉強カフェ」を作り、若者を駅前に呼び寄せたい。地域の人が集まるハブ空間の役割も持たせたい。

《Web サイトと配達サービスを利用した商店街活性化プラン～高齢化を視野に入れて》

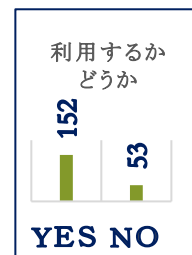
越前市の人口推移から、越前市も高齢化が進んでいる。つまり、主な消費者は高齢者になる。しかし、高齢者の中には、自由に買い物に行くことができない高齢者もあり、その数は高齢化が進むと増えていくと予想される。特にコロナ禍で、高齢者が小さな商店に集まることはリスクが高い。また、駅前商店街の現状は会員数が減少してきており、シャッターを下ろしている店舗も多い。そこで、高齢者が外出しなくてよい、



密集しない配達サービスを商店街全体で実施する。目利きのきく人がとりまとめ役となり、高齢者と電話や Web でやりとりし、注文の品を商店街店舗で揃え、配達する。注文時の電話や配達時に高齢者とコミュニケーション取り、健康状態を把握することもできる。

《サンドーム直行バス》

新しく開業される新幹線（仮称）南越駅の利用者増加を目的として、県外利用客をターゲットにする。コンサート会場として全国的にも知られている「サンドーム」と直行バスで繋ぐことで、コンサートに来る県外客を取り込む。校内生徒アンケートによれば、74%が利用したいと答えている。バスのラッピング・車内で該当アーティストの DVD 上映、トレーディングカードの交換等を行う。



②福祉・医療・高齢者対策分野（1例）

《高齢者の体を健康に 「コロナに負けるな！体操 ～一日3分の体操で心も身体も健康に～》

昨年度、ディサービス実施事業所へのフィールドワークから、高齢者の方が集団で運動することで

2. アイデアの説明（公開）

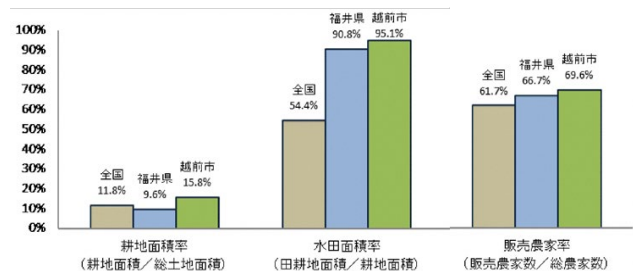
(2) アイデアの理由（公開）

やる気がでて効果がアップすること、筋力を衰えさせないようにし、フレイル予防が重要であると知った。しかし、コロナ禍で、自由にディサービスに行けなかった、行くことに不安を感じている高齢者やその家族がいることもニュースで知った。また、介護施設に入所できない高齢者や、住み慣れた家を離れたくない高齢者も存在する。私達は、在宅でもできる簡単な体操を高齢者の方に届けたい。QRコードつきチラシを作成し、ガラケーでもアクセスできるようにしたい。また、情報機器を苦手とする人のためにDVDにし、地域の公民館などで貸し出しや活用を図りたい。

③自然・農業・理系分野（1例）

《効率化による農業の活性化》

越前市は耕地や水田が全国平均より広く、県平均と比べても広い。（平成27年統計値）しかし、JA越前たけふによれば、高齢化によって農業に取り組む人が減少している。農業維持のために効率よく行う必要がある。スマート農業に注目し、農家への普及を目指す。



「農林水産省ホームページ(わがマチ・わがムラ(市町村データ))」より

③教育・国際理解分野（2例）

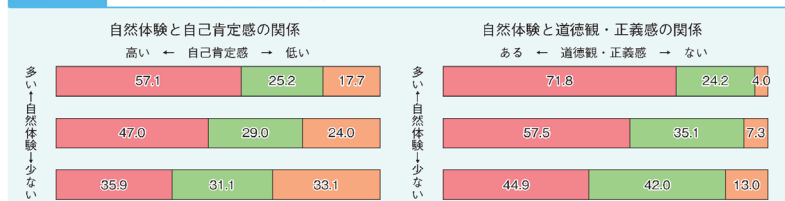
《Traveling Together from the Starting Point Of Differences!》

現在、多国籍化が進んでいる越前市であるが、その中でもブラジル人児童は、市全体の小学生の約3%である。（市教育委員会外国人児童生徒対応支援員 関孝夫先生より）しかし、外国籍の子ども達の日本語力に対応した教育環境が十分に整っているとは言えず、高校進学時に大きな負担になっていることを知った。市内で外国籍児童生徒の支援を行っている「オラバモス教室」にフィールドワークにでかけ、さらに、市内で最も外国籍児童が多い武生西小学校を訪問し、「トカーナ教室」も見学させていただいた。現在の外国籍生徒の教育の現状は、別室でのアクセスワーカーによる個別授業は「算数」と「理科」であること、「国語」「社会」「道徳」の時間は日本語学習の時間に活用しており、特に「社会」など高学年から始める教科の理解ができておらず、中学進学後の高校受験対策に支障をきたしていることを知った。特に「社会」は社会生活を営む上での基本知識の習得のためにも重要な科目と考え、「社会」のポルトガル語での教材作成に取り組んでいる。

《緑っ子プロジェクト～自然体験を通して、自己肯定感を高め「友達作り」のきっかけを～》

平成28年度第一回越前市子ども・子育て会議の記録の中の資料1によれば、「越前市での不登校・ひきこもり数は年々増加傾向にあり、越前市では平成21年度小学校では11人、中学校では96人の児童生徒が不登校である。」とある。私達は、不登校児童生徒はもちろん学校でうまくコミュニケーションが取れない児童生徒の手助けをしたいと思い、自然体験を取り入れたプロジェクトを考えた。目的は子どもの友達作りの手助けをし、学校に対する意識や関心を高めるのである。自分の自信のない小学生または「友達作り」が原因で学校に行けなくなった不登校生を対象とする。特に自然体験を取り入れることで自己肯定感を高め、対人に対するハードルを下げたい。また、短期間ではコミュニケーションのきっかけにしかならないと考え、通年のプロジェクトを提案する。

図表 1-2-1 子供の体験活動と意識の関係



平成28年度文部科学白書より

2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます＞

Happy Project 全体の流れは、(1) アイデアの内容による。すでに2019年度の活動は終了し、「Happy 作戦集」を発売した。地域の方々の閲覧は続いている。

- 5月 越前市に対する意識調査
- 7月 市役所各課とヒアリング
- 10月 具体的な現場でのフィードワーク
- 12月 個人報告会
- 3月 「Happy 作戦集」発行
- 6月 実践チーム結成
- 12月 チーム報告会、
- 3月 最終報告会 1年生へ繋ぐ

今後の各チームのアクションをチームで提案された70プランの中から、8プランを例としてあげる。

①都市開発・交通・まちづくり・観光分野（3例）

《武生勉強カフェ》

- ア 3月最終報告会までに、より具体的プランの作成
- イ まちづくり武生株式会社や仁愛大学の協力を要請する。
駅前商店街の空き家利用・・・空き家の紹介（まちづくり武生株式会社）
仁愛大学アンテナショップ駅前サテライトの利用・・・仁愛大学が利用している駅前の古民家を利用したアンテナショップサテライトの一角を貸してもらおう。
- ウ カフェの運営は、地元商店街の方と一緒にやる。
カフェを開きたいという人を募集（まちづくり武生株式会社の協力が必要）
カフェ経営ができない場合は、地元の商店街のお店の紹介マップ（お勧めメニュー・金額・電話番号）を置き、電話で注文し、配達することを検討する。

《Web サイトと配達サービスを利用した商店街活性化プラン～高齢化を視野に入れて》

- ア 3月最終報告会までに、より具体的プランの作成
- イ まちづくり武生株式会社を通して、地元の目利きを捜す。
- ウ 電話注文を受け付ける小さなオフィスが必要。地元商店街に協力を呼びかける。

《サンドーム直行バス》

- ア 地元のバス会社である「福鉄バス」に提案する。

②福祉・医療・高齢者対策分野（1例）

《高齢者の体を健康に「コロナに負けるな！体操 ～一日3分の体操で心も身体も健康に～》

- 2021年1月・・・体操案作成完了
- 2021年2月・・・動画作成・チラシ作成・印刷（チラシは、デザイン志望の生徒に協力を要請）
- 2021年3月・・・チラシ配布（地域の公民館・図書館）
越前市の広報紙にも掲載を依頼したい。
費用は越前市地域貢献活動支援事業補助金10万円でまかなう。
内訳：報償費（理学療法士による動画監修費を含む4万、需用費（1万）印刷費（5万：20円×2500部）

③自然・農業・理系分野（1例）

《効率化による農業の活性化》

- ア 3月最終報告会までに、より具体的プランの作成
- イ 2021年6月頃までに、「スマート農業の農家向け啓発チラシ」を配布したい。
費用は来年度の「越前市地域貢献活動支援事業補助金（10万円）」に申請予定。

③教育・国際理解分野（2例）

《Traveling Together from the Starting Point Of Differences!》

2020年12月…教材の翻訳活動

ブラジル国籍の市で通訳ボランティアをしている本校保護者に監修を依頼する。

2021年2月…教材としてまとめる。（製本またはプリント集を検討中）

2021年3月…越前市教育委員会に提示。

ご意見をいただくとともに各小学校への配布を提案したい。

費用は、小学校社会科の教科書代・印刷・紙代として、武生東高校PTAに協力を依頼する。

《緑っ子プロジェクト～自然体験を通して、自己肯定感を高め「友達作り」のきっかけを～》

ア 3月最終報告会までに、より具体的プランの作成

イ 4月、地域公民館で短時間子ども向けイベントを実施（小型イベントで運営を実践）

エ 通年の具体的活動の具体化（季節を感じられる内容）

費用は来年度の「越前市地域貢献活動支援事業補助金（10万円）」に申請予定。